



国土交通省道路局長 殿

19 豊建発第 112 号  
平成 19 年 5 月 1 日

豊根村長 熊谷 卓



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号にて国土交通省道路局長より依頼のありました標記の件について、その意見を別紙のとおり提出致します。

## 道路整備の中期計画の作成について

私どもの豊根村は、平成十七年末に隣の富山村と合併いたしました。

現在一年半が過ぎましたが、この間に人口は6%、世帯は4%減少しております。

理由はいくつかありますが、最大の問題はこの地域が通勤可能な都市を持たないことと、通学可能な高校がない（愛知県の高校再編により通学可能であった隣の東栄町の本郷高校が廃止されることとなり募集停止となっております）ことの二点が最大の弱点となっております。

加えて愛知県の最東北端になるとう村は94%が山林で平地が少なく地場産業を含めた雇用の場が、公的な雇用に偏っていることによるものであります。

合併によりその少ない雇用の場である公的な職場が減少し、生計を維持するために離村する若者が急増しております。

旧村間の行き来に一時間近くかかる道路条件（峠越えの未改良一車線の道路で屈曲が激しく、冬は凍結する）は自然が豊で、豊富な資源（木材等）の活用もままならない状況です。

またこの道路（津具大嵐停車場線）が交通止めになりますと、静岡県又は長野県回りで一時間半程度かかります。

国が進めた町村合併でありますから、是非国費を投入した抜本的な道路改良が富山地区を守るためには不可欠であると思います。

雇用・教育・福祉・医療すべてにかかわる過疎対策といえると思いま  
すしすべてに優先する課題だと考えます。

真に必要な道路とは、どんな過疎地においても安心安全に生活のでき  
る環境づくりと同一ではないでしょうか。

医学が進歩し一分一秒を争う時代に、基幹病院まで二時間以上もかか  
るところに住むことが可能でしょうか。

愛知県は西のほうは高速道が整備されどこからでもインターへ30  
分くらいでいけると思いますが、この地域は高速道路の空白地帯で現在  
一時間半以上かかるのが現状です。

費用対効果も大切ですが、この地域は戦後、二つのダム（佐久間ダム・  
新豊根ダム）により多くの人々が離村しております。

その人たちのことを考えるとふるさとの明かりが消えないようにする  
ためには道路ネットワークの整備は最大の課題であると考えます。

そのためにも道路特定財源は当然道路のために当たるべきであるし  
このような過疎地においては、省庁間の連携した予算の有効活用システ  
ムが必要ではないでしょうか。

過疎化によって、国の重要文化財の花祭りの灯も消えようとしていま  
す、是非過疎地にも光を当ててください。

平成19年5月1日

愛知県北設楽郡豊根村長

籠谷卓也

